

(第37回 小高産業技術高等学校野球部 監督 角田浩斗)

甲子園の名参謀が明かす「トップチーム」の創り方

『小倉ノート』

小倉清一郎 著 竹書房

書籍リレーの依頼を受け、私が影響を受けた書籍をご紹介できればと思います。

『小倉ノート』は、横浜高校野球部の元部長・小倉清一郎が、長年の指導経験から培った「勝つための野球」をまとめた本であります。小倉氏は、野球で勝つためには選手の才能や技術だけでなく、徹底した準備、分析、練習、状況判断が重要だと考えております。

本書では具体的な例や数字等が書かれており、この時にはこのポジションの選手はベースから何mのところになければならないなど、単純明快で指導歴の少ない私でも理解できるものとなっております。

小倉氏が特に重視されていたのが、試合前の相手分析です。相手投手の球種や特徴、打者の弱点、走者の癖などを細かく調べ、それを試合での作戦に生かす。試合が始まってから考えるのではなく、あらかじめさまざまな場面を想定し、「この状況ではどうするか」を決めておくことで、選手が迷わず行動できるようにしていると書かれておりました。

また、小倉氏は1点を取るための攻撃と、1点を防ぐための守備を大切にしていると書かれております。バント、スクイズ、走塁、守備位置など、一つ一つの細かなプレーを徹底して練習し、特別な才能がなくても、こうした細部を積み重ねることでチーム全体の力を高められるということが書かれております。

さらに、練習は単なる反復ではなく、実際の試合を想定して行うことが重要であると書かれており、選手自身が状況を判断し、次に何をすべきか考える力を身につけることが、強いチームにつながると言われております。

最後に、この本書の中で好きな言葉があります。「勝利は偶然ではなく、徹底した準備と努力によって生み出すもの」です。私自身も生徒に「物事すべてを先読みしなさい」と伝えています。先読み＝準備です。これは勉強や仕事などでも言えることで、目標を明確にし、相手や状況を分析し、細かな部分まで準備することは、高校野球を終えたこの先の人生にも通ずることと考えます。この一冊ご興味があれば是非御一読ください。そして今回、書籍リレーのお話をくださった磯前先生、このような機会をいただきありがとうございました。